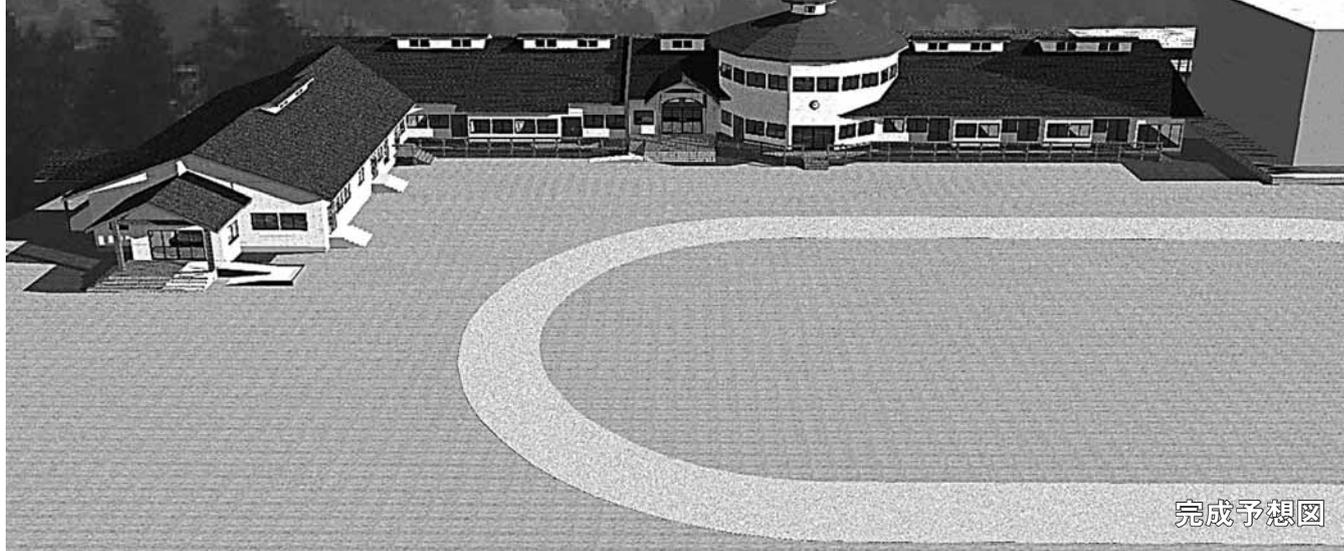


持留小学校新校舎起工式及び 安全祈願祭が行なわれました！



老朽化が進み、構造上危険な建築物となっていた持留小学校校舎が、改築されることになり、去る5月11日(金)、関係団体80名が出席のもと、起工式及び安全祈願祭が執り行われました。改築される校舎は、木造平屋建一部2階建の延べ床面積1734・58㎡で、人に優しい温もりに満ちた設計となっています。

保有教室等の内訳は、普通教室4室、特別支援教室1室、理科室・音楽室・図書室などの特別教室6室のほか、校長室・職員室・保健室などです。

工事は本年5月から着工し、平成20年1月末には完成する予定です。

町では持留小学校改築の基本方針として、3つの柱を立てました。1つ目は、児童生徒達にやさしさといわわりを与え、心やすらぐふれあいの場となる建物。次に、学習活動を機能的に行なうための、質の高い建物。最後に、環境に配慮した建物の3つです。

子どもたちは、今から新しい校舎の完成を楽しみにしています。新しい校舎は、地域の持つ伝統・風土を生かし、子どもの教育だけでなく生涯学習の推進にも大きく期待できるものと思われまます。

